

病害虫にご用心！ 適期防除で被害0へ

虫は株元に潜んでいることが多いです。虫を探す時や薬剤散布時は「株本まで確認、散布」をしてください！

カメムシ類

昨年は県全体でカメムシによる被害粒が多かった。薬剤以外にも畦畔の草刈りなど圃場に寄せ付けないよう対策を取りましょう！

※特に複数品種栽培されている場合はそれぞれの品種ごとに適期を見極めて作業してください！



ウンカ

2019, 20年に大発生した。九州では7月に今年度初飛来を観測しており、今後の動きに注意が必要。すばやく防除が出来るよう準備を忘れずに！



いもち病(穂いもちは基幹防除)

今年度は梅雨が平年より長く、日照不足と多湿が続くと多発生しやすい。葉いもちからのずり込みにも要注意。

適期防除するための目安(実際の圃場を確認して行ってください)

生育ステージ		出穂 週間前 2 3	穂ばらみ期	出穂はじめ ←	一部が出穂 5~7日	半分が出穂 →	穂揃い期 8~9割出穂	穂揃い期以降
病害虫	防除体系							
	いもち病	1回目：粒剤 2回目：液剤または粉剤	○ (粒剤)				○	
カメムシ類	液剤または粉剤		○				○	発生が目立つ場合は追加防除
	粒剤						○ (穂揃い期7~10日後まで)	
	畦畔の草刈り	○		※カメムシがほ場に侵入するため草刈りしない				○
ウンカ類	基幹防除		○					○(随時)

